ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650　2017.6.13　No. 2463

2016-2017 RI テーマ
人類に奉仕するロータリー

TAKEFU WEEKLY

Rotary Club of Takefu

創　立／1954年（昭和29年）6月30日
事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
例会日／毎週火曜日
会　長／京藤敏実
例会場／武生商工会館
幹　事／三村昌之
会報委員長／矢尾主成

第3048回 例会記録　平成29年6月6日(火)

会員総数 60名

本日出席会員34名
　メークアップ（前々回）5名
　出席率（前々回補正）74.14%
「君が代」斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト　越前市「みんなの食堂」
　　実行委員長　野尻富美氏　川崎一恵氏

会長挨拶　第63代会長　京藤敏実

先週は、武生ロータリークラブ定款・細則・事務取扱内規の改正にご賛同いただきました。その事務取扱内規の（10）武生ロータリークラブ創立記念日 1954年6月30日、国際ロータリー加盟承認の日を記念して、6月30日を武生ロータリークラブの創立記念日とする。という一文があります。

6月8日 創立総会（仮クラブ発）、6月30日 国際ロータリー加盟承認（国内135番目、地区内10番目、県内2番目）です。11月1日 認証伝達式が行われています。チャーターメンバーは31名でそのうち７名は福井RCからの移籍メンバーで、井波五郎三郎（日本酒販売）・丸山重助（化学肥料）・中西敏憲（珪石採取）・福島文右エ門（製瓦）・山田政四郎（麻製品製造）・林一治（病院）・竹下勘右エ門（市街郊外電電）の方々が福井RCからの移籍メンバーでした。初代会長竹下勘右エ門・幹事は福島文右エ門でした。

ロータリークラブは、7月始まりですので、認証伝達式があった、11月1日は実質的には、武生RCの2年目になります。1年目・2年目は理事役員は同じであったようです。初代会長の福鉄に事務局を置き、例会場は安久楼でした。設立当時に平均年齢は、53.8歳・通年出席率は97.5%と記録されています。

プログラム

ゲスト卓話
「地域で暮らす」「地域で育つ」を地域で支える
　越前市みんなの食堂
　　実行委員長　野尻富美氏　川崎一恵氏

みんなの食堂のスタートは平成16年秋の育児デイケア「ままのて」がきっかけでした。子育て世代の我が家と同じように困っている家庭があるのでは？という素朴な疑問からでした。始めると、保育園が休みの時の一時預かりをして欲しい、障がいのある子を預かって欲しい。そんな声が多く届きました。高齢者からは、こじんまりしたデイサービスなら行きたいという声を聞き、平成20年春に複合型デイサービス「てまり」を次の事業内容で始めました。高齢者のデイサービスと学童保育以外は定員1人～2人で、ワンフロアーで一緒に過ごし、「うるさーい」と高齢者から子ども達が叱られたりもしますが、互いに当たり前に過ごすことを大事にしています。

このように「てまり」では、サービスのすき間を埋めて、いろんな方を受け入れようとしましたが制度にとらわれない自由な居場所が必要なのではないかと感じていました。

定年間もない男性は、奥様との老後を楽しもうとしていた矢先に奥様に先立たれ、「1日誰とも喋らない日があるんや」。1人暮らしの女性は「1人でごはん食べても美味しくないの」。認知症の主人を介護している女性は、「家に2人いるとしんどい」。小学校までは毎日登校していた子が、中学に入って不登校気味になったなど、それぞれに辛さを抱えていたからです。

そこで26年秋には越前市の委託事業の「認知症カフェ」と自主事業を併せて「てまり茶屋」をオープンし、年代を超えて誰もが気楽に集える場の提供を始めました。

しかし、その中で、やはり、夕食をみんなで食べる場が必要なのではと考えるようになりました。みんなで賑やかに食べて楽しかったな～。ようし！明日も頑張ってみよう！と思える夕食です。そんな時間を一緒に過ごす中で、ちょっとした問題の解決の糸口がみつかることもあるのではないかと思ったのです。

「子ども食堂」の開設が全国でニュースになっていましたが、私は、地域にいるのは、子どもだけではない！貧困は確かに辛い事情の１つだけれども、それ以外の辛さが日々の生活の中にはたくさんある！と痛感していました。そして、可哀想な子（人）だけが来る食堂ではなく、誰もが来られる「みんなの食堂」を運営できないかと考え始めたのです。

平成28年の年賀状で、日頃から信頼しているKさんに「子どもも高齢者も障がいのある方も、みんなが来れる食堂を実現したい」と添えました。Kさんとの話し合いで2人で「みんなの食堂」をやろうと決意しました。運営は2人を中心としたボランティアですることにしました。そこに至るには福祉関係の仲間や行政の方からの温かいアドバイスがありました。決意はしたものの最初の課題は資金です。仲間のアドバイスを受けて、個人1口2千円、法人1口5千円の寄付を募り、3月初旬から1ヶ月で約30万円が集まり、食器や道具類を揃えました。毎月の寄付を申し出てくれた社会福祉法人、食材の提供を引き受けてくださった企業や商店の方々、私たちが挑戦しようとしていることを認めていただけたという喜びと責任を感じました。

期待と不安の中で4月20日にオープン。約30人の参加者でした。メニューはハンバーグ。お手伝いの方もたくさんで大騒ぎしながら食事にたどりつきました。でも、終わって気がつけば調理配膳が忙しく利用者の方とのお喋りが出来ず大反省でした。それでも、高齢者や小中学生が多く来てくれたこと、その中に不登校気味になっていた中学生がいたことは嬉しいことでした。

オープン以来、毎回の参加者は30人を超えています。最初は子ども同士、高齢者同士での垣根がありましたが、今では高齢者の近くに子どもが座り、高齢者からの言葉に小学生がちょっと照れながら答えると高齢者に笑顔が広がっています。（中略）

実施回数についても悩みました。本来は「いつ来ても開いている食堂」がよいのですが、まずは継続優先で月2回のスタートになりました。参加者が30人を超える今では、同じ場所で回数を増やすより、別の場所での支店？開設がよいのでは？とも考えています。

開始から3ヶ月。当面は毎回を振り返りつつ「みんの食堂」の定着に力を注ぎ、参加の方々が「また明日も頑張ろう」と思って帰ってくださることを願い、次回のメニューを考える日々です。

「みんなの食堂」にはテーマがあります。「地域で育つ･地域で暮らす」を「地域で育てる」です。子どもだけ、高齢者だけの地域ではないはず。辛いこと、ちょっとしんどい事、困った事、嬉しい事、誰かに聞いて欲しい事、どれも地域の中にあるはず。誰もが気軽に集える「みんなの食堂」。私たちも楽しみながら目指したいと思っています。

報告事項

6月誕生日お祝い……7名

高橋俊雄　86才
渡辺佳男　86才
鎌谷忠雄　78才
田中　茂　65才
野田義弘　57才
橋本勝利　55才
渡辺哲広　49才

6月結婚記念日お祝い……1名

宮前貴司・真　子　25年

6月連続出席お祝い……2名

三村昌之　9年
佐々木忠彦　3年

ニコニコ箱 …… 85,000円　　累計 1,213,900円

例会変更情報／福井県内ビジター受付（6月14日～6月30日）

6月15日	敦賀西RC	12:00～12:30	プラザ萬象2階ロータリー事務局
6月19日	福井東RC	12:00～12:30	アオッサ1階入口
6月22日	福井水仙RC	18:00～18:30	福井パレスホテル
6月29日	福井RC	12:00～12:30	ユアーズホテルフクイ1階フロント
6月30日	福井あじさいRC	12:00～12:30	ホテルリバージュアケボノ
6月30日	三国RC	12:00～12:30	三国観光ホテルフロント
6月30日	福井西RC	12:00～12:30	バードグリーンホテル

＊変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日（6月13日）の例会	6月20日→18日	6月27日	7月4日
RYLA報告 ㈱ふじや食品 藤田裕晃氏	最終例会 場所：芦原温泉 灰屋	休　会	第一例会行事 新年度挨拶